

なった。
各グループの発表後、黒板には表やグラフ、写真、絵などがいっぱいに並んだ。自分たちの力で調べ、他のグループの発表を聞いて納得のいくまで話し合い、子どもの充実感があふれていた授業となつた。(資料提供・福井県敦賀市立西浦小学校)

考察

この学習活動は、身近な事象であるマダイの養殖を取り上げ、子どもたちが課題を見いだし、それを解決していくという問題解決活動を構成している。

このように、子どもたちが興味ある課題を見付けることができるような教材を開発し、課題を見付けた子どもたちが、自分の課題の解決や実現のイメージを具体的な形にするための方法として、自分にあってる方法、試みたいと思つててる方法などの中から選んで決めること、そして、学習活動の展開のそれぞの過程において、子どもの状況に応じて、必要な提案や助言をしたり、幅広く共感しながら認めたりするなどの支援を行うことが大切である。

(文部省小学校課教科調査官)

生活科

遊びや生活を工夫する力

馬居政幸

先生に教えてあげる

昨年十一月、伊豆の伊東南小学校(伊郷章校長)の中井久美子先生が担任する一年三組の生活科「あきとあそぼう(教えてあげてね宝物)」に参加する機会を得た。子どもたちは様々に工夫を凝らした秋の宝物屋を開店して元気一杯活動していた。とりわけ次の二人に感心した。一人は蜂の巣状に並べた一升牛乳パックの中にコオロギや鈴虫を一匹ずつ入れて売っていたK君。もう一人は活動の真っ最中に教室の片隅で黙々とカッターでススキの穂を切り捨て、残った茎に色を塗つてカタナを製造していたI君。牛乳パックのショーウイングー、ススキの穂ではなく茎を利用した刀、いずれも私の常識では考えられないものであった。

なぜこれほどユニークな工夫が生まれたのか。授業終了後、中井先生に尋ねてみた。

「私もよくわからないんです。大体、みんな私の指導なんか聞かないんです。一学期のころは聞いてくれたんですけど。でも二学期になるとだんだん聞かなくなつて。子どもたちが自信もつたみたいで。自分の好きなようにやっていいんだって。国語や算数の授業は正解がありますが、生活科にはないですよね。工夫したり発見したことを先生に教えてあげる。先生のものよりももっと面白いものを作つてみよう。先生が知らないものを見つけてあげよう。とにかく私はほめるだけ。私が教えられることばかりでしたので」

秘密は学級づくり。子ども一人ひとりに応じて「ほめる」とことと「自信」をもたせることに気をつけたことが、中井先生の予想を越える工夫や発見を生みだした。そしてこのような「学級づくり」が「遊びや生活を工夫する力」を育む指導の第一のポイントと考へる。

多様な人、物、事を巻き込んで

うれしい誤算

第二のポイントは学校の内と外の「ヒト、モノ、コト」の活かし方である。実は宝物の材料は子どもが学校の外で家庭や地域の人たちに教わりながら見つけたもの。それを工夫して作ったもの点について、この日の活動の冒頭で、お父さんやお母さん見事な歓迎の挨拶をしたMちゃんのことを紹介した

(507) 教科における学ぶ力の指導ポイント

の活かし方である。実は宝物の材料は子どもが学校の外で家庭や地域の人たちに教わりながら見つけたもの。それを工夫して作ったもの

い。

中井先生はMちゃんのリハーサルを子どもたち全員の前で四回繰り返した。やりたい意欲と実際にできる実力とは別であり、その間を埋めるには努力が必要であることを、子どもたちに気付いてほしかったからである。だがこの先生の思いに反して、四回目のリハーサルでもMちゃんは挨拶文を暗記できなかつた。ところが、本番は見事に、それも先生が知らない内容を自分で付け加えて挨拶した。私も含め参加者全員が感動の大拍手。凄い子だねという私の評価に、中井先生は笑いながら、あんなにうまくやるなんて信じられない、と前置きして次のように語つてくれた。

「本番に強い子つっているんですね。その時はくやしくて、あの普段の姿はなんだつたんだって。でもうれしいんですけど。逆に、この子は大丈夫だ、と思ったら、大体失敗するんですね。だから、ダメだともイイともきめずに、今日はどうかな、と思いながら毎日子どもたちに接するようになっています。どんな良い子にも波がありますし。心配な子どもがいても、すぐ手をうたずにじっと待つんですね。時にはすぐ声をかける場合もありますが……、あんまりはつきりいえないんですけど、この子には今すぐいわなければ、あるいはこつちの子にはしばらくまってみようつて。

道徳と学ぶ力

村松 鎮正

しきを引き出すコンダクターになりますから。

一 道徳教育が目指すもの

子どもたちのかん高い声に誘われて仕事の手を休め、校長室から窓外に目を移すと、給食を食べ終えた子どもたちが、運動場に飛び出してきて所狭しと走り回っています。

——満面に笑みを浮かべて遊んでいる子がいます。人だかりができています。怪我でもしたのでしょうか。涙している子がいます。あの涙は苦いのでしょうか。藤棚のベンチに独り座っている子がいます。仲間に入れてもらえないのでしょうか。それとも、風邪でもひいたのかな。——

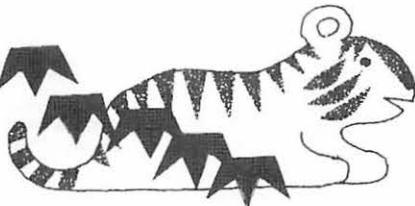
運動場は、子どもたちがそれに自己を表現する舞台となり、様々な音色を聞かせてくれるソリストたちの集まりとなりました。あなたたちはそれぞれが主役なのです。自らを思いっきり表現すればいいでしょう。先生たちはあなたたちのすばら

なんか矛盾するみたいなんですけど」

私は中井先生の厳しい指導がMちゃんの潜在的な能力を引き出したと考える。ただし、彼女の指導は常に子どもが自分で工夫する余地を残した指導。自分なりに努力しその成果が現れることを辛抱強く待つことも忘れてはならない。子どもたちがそれぞれ自分の意欲を自由に発揮できることが指導の前提。その意欲をその子なりの結果に結ばせるための努力や工夫の意欲に転化させることができるのである。これが三つ目の、そして最も重要な指導（支援）のポイントであると考える。

（静岡大学助教授）

訂正のお知らせ
本誌二月号の九頁十八行目、引用文献に次のようないきがございましたので訂正します。
誤 Harris, P. L. 1981 ...
正 Harris, P. L. 1989 ...



学ぶ力を伸ばす

「学ぶ力」とは何か

「学ぶ力」の心理

子どもの発達と学ぶ力

学ぶ力を伸ばす教師の役割

子どもの「学ぶ力」を支える親・家庭

「個に応じる教育」の今日的課題

学ぶ力を支える生活習慣

成功体験が学ぶ力を伸ばす

学ぶ力に必要な「読み、書き、そろばん」

競争場面は学ぶ力を育てるか

学ぶ力と対人関係

教科における学ぶ力の指導ポイント

国語——表現する力特に「書く力」について

算数——計算の意味を理解し、用いる力

理科——問題を追究する力

社会——社会的事象について考え、理解する力

生活科——遊びや生活を工夫する力

高階玲治	9	梶田正巳	9
湯沢正通	15	佐藤公治	22
新井郁男	32	杉本真理子	27
有村久春	39	杉山雅彦	44
石田勢津子	50	森和代	55
森和代	55	石田淳一	66
奥井智久	66	大熊徹	66
寺田登	70	石田淳一	68
馬居政幸	74	吉崎静夫	77
佐藤正二	60	成田國英	82
佐藤正二	60	遠藤幸吉	111
志村充子	111	花井正樹	117
有園格	106	米田裕亮	100
林智恵子	103	善野博	100
天笠茂	127	吉崎静夫	95
相馬実	132	梶田正巳	9
138	138	138	138

連載

子どもを生かす教育相談室 Q & A
教室だより(鶴田貞子)94/保健室から(鈴木永子)137/本の紹介143

【巻末連載】学校力ウンセリング事典 第19回

カウンセリングの諸理論と技法
精神医学・心身医学

文部省登校拒否調査はどう見るか

東京都江東区立第三鶴戸小学校

87

特別企画

小学校でのエイズ教育はどうすればよいか

相馬 実
132

安食 徹
久保知恵美
138